

高島藤樹会

発行 高島藤樹会

〒520-1224

滋賀県高島市安曇川町上小川69

近江聖人中江藤樹記念館内

電話・FAX 0740 (32) 0330

U R L <http://www.touju.jp>

E-mail toju@city.takashima.shiga.jp



中江藤樹フォーラム2005・大洲の現地研修

CONTENTS

「ひじりの声」	1
発刊に寄せて	2
事業報告	2
会員のひろば	3
役員紹介	3
コラム 与右衛門さん	4
環の郷を訪ねて①	4

「つづきの巻」

藤樹先生に次のようなことがある。すべての人間は、金銀珠玉よりも、なおすぐれた「明德」というたからを、方寸のうちに賦与されて、この世に生をうけている。天は万物を生み育てる父母であるが、しかしその明德は人間だけに与えられた。人間が、万物の霊とよばれる所以は、じつにここにある、と▼ところが、昨今のテレビや新聞をにぎわしている事件をみると、人間の良心はどこへいったかと、首をかき上げることばかりで、心のあたたまるようなニュースは、ほとんど見当たらない。こうした現実社会と、先生の教えとの違いは、どうして起きるのか▼先生の答えは、しく明快である。われわれは、日常生活のなかで明德を發揮せずに、くもらせている。そのくもらず原因は、「満心」が暗雲のように、覆われていることにある。その満心を取り除かねば、アクのように溜まり、ついにはその人の心だてや言行が異なるものになってしまう▼満心とは、われこそが、という我執の心であり、ここには人を温かく思いやる心など、さらさらしない。この満心のない人間は稀だ、と先生は説く。